

総括

「すべてはつながっている」(SDGs と人権)

1 学習のねらい・人権教育の視点

- (1) SDGs(Sustainable Development Goals)は「持続可能な開発のための教育」という訳語から、環境や経済、社会のイメージが強いが、SDGs の理念として「誰一人取り残さない」ということが通底しており、17 のゴールは、すべて人権とつながっているということができる。
- (2) 本テーマの学習を通して、SDGs の理念を理解するとともに、「ジェンダー平等を実現しよう」や「人や国の不平等をなくそう」、「平和と公正」のような、直接人権とつながっていきそうなゴール以外にも、人権問題、人権課題とのつながりを考える姿勢を身につける。
- (3) SDGs の達成に向けて、自分事としてとらえ、自己変容(従来の価値観・行動・ライフスタイルが内発的に変わるプロセス)につなげる。

2 指導上の留意点

- (1) 本テーマを扱う教育活動は ESD(Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)となりうる。ESD では、一人ひとりの行いの積み重ねが、地球規模の諸問題を引き起こしている一方、それらにより解決することもできるという認識をもつことが重要である。
- (2) 持続可能な開発に向けて、生徒の変容を促すためには「体験」が不可欠である。ワークシートを用いた活動により、多様な意見や取組を共有することで、生徒の変容が期待できる。また、授業後、ワークシートをクラスに掲示したり、面談や授業に活用したりすることで生徒の認識や考えを深めることができる。
- (3) 図2およびワーク1に記載の「脆弱性」は、弱い立場の人と読み替えることができる。ワークシートの記入例としては、[誰が - 視覚障害者が][何に - 移動に][なぜ - 段差などユニバーサルデザインでない街のつくり]など、『HUMAN RIGHTS』のテーマ1~14に出てくる人権課題との関連が考えられる。
- (4) 生徒用資料に関しては、SDGs は国連が意図的にカラーで作成したこと、また QR コードから Web ページを主体的に閲覧することが可能であることから、紙媒体ではなくデジタルでの配信が望ましい。
- (5) 単に環境や平和などの学習にとどまらないよう、人権との関連づけに留意する。

3 展開例

次ページ参照

4 参考資料

- | | | |
|--|---|---|
| (1) フリーPowerPoint スライド(SDGs の概要を知る) | (1)  | (2)  |
| (2) SDGs CLUB(SDGs の概要を学ぶ) | | |
| (3) ゴー・ゴールズ(SDGs を日本語版すごろくで学ぶ) | (3)  | (4)  |
| (4) SDG4 キャンペーン
(SDGs4番に特化したプロジェクト。旧世界一大きな授業) | | |
| (5) ヒューライツ大阪(SDGs と人権の関連性を解説する Web サイト) | (5)  | |

[展開例]

学習活動	指導上の留意点、使用する資料
SDGs とはなんだろうか。	
<p>1 学校や日常生活の中で見たり聞いたりしたことを発表する。</p> <p>2 図1やYouTube 動画(We the people) (QRコード)を見る。</p> <p>3 QR コードから 2030 アジェンダの原本にアクセスし、人権にかかわる文言を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の身のまわりのこととSDGsとのつながりを意識させ身近に感じさせる。 ○ QRコードの動画のほか、さまざまなメディアで取り上げられていることも紹介する。 ○ 2030 アジェンダの原本を読ませ、人権にかかわる文言や理念から、SDGs の基盤は人権であることを認識させる。
SDGs の設定における重要な視点とは何だろうか。	
<p>4 図2を見て説明を聞く</p> <p>5 図3、キーワードの理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図2を用いて、SDGs では、脆弱性の高い人々、すなわち「弱い立場の人々」の不利益や不安定さをどのように解消するかが重視されていることを理解させる。 ○ 図3の上部「SDGs13 番に関連する人権・条約等」で、ゴールと他の人権規約との関連について理解させる。 ○ ターゲット・指標の部分により、ゴール同士の間隔や、ターゲットや課題が何をもって達成されたかを判断する基準として「指標」があることに気づかせる。
自分やクラスの目標(ゴール)をつくり、行動に移す方法を考えよう。	
<p>6 ワーク1～3に取り組み、SDGsの達成につながる自分の目標を考える。 グループやクラスで発表し、クラスメートの目標や意見などから、より具体的に考える。</p> <p>7 図4を見てSDGsと社会づくりの例について理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークに取り組ませ、社会や身近な人々の不利益・不安定さ、人権侵害について考え、人権課題とSDGsとの関連づけを図る。 ○ ワーク1については、具体例を挙げるのが望ましい。 ○ ワーク2については、グループで相談・協議すると多様な考え方やつながりが見えてくる。 ○ ワークシートの記入内容について、教員によるフィードバックやグループ、クラスでの発表等を行い、具体化を図る。 ○ ワーク3については、完成しない場合は放課後や家庭学習での課題とする。
<p>8 ふり返りを行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまなゴールや人権の視点などを組み合わせた取組イメージの例として、明石市について説明する。



すべてはつながっている

年 組 番 名 前 _____



あなたが知っている人はいるかな？
アクセスして見てみよう！



ワーク1 脆弱性について、図2を参考に、あなたが思いつく立場が弱くて困っている人を整理しよう。

誰が？	何に対して？	なぜ？



ワーク2 上の表の中から、あなたが高校生活でかかわる人を取り上げ、SDGs と結びつけよう。

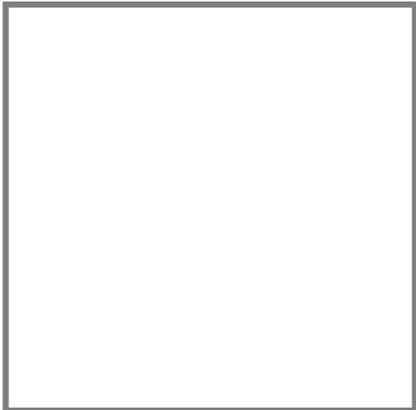
誰が？	何番のゴールとつながっている？



ワーク3 ワーク1・2で挙げた、立場が弱くて困っている人を支援し、問題解決につなげるための独自の目標を考えよう。

- Step1. 自分が考える目標の名前とデザインを作ろう。
- Step2. 発表や掲示などでクラスで共有しよう。
- Step3. クラスの目標を決め、達成に向けて周知しよう。

自分がつくった目標は何をもって達成としますか？
 クラスの中で似た目標はありますか？
 クラス外に周知する方法は
 どのようなものがありますか？



Q クラス内で共有を行い、気づきを記入しよう。

Q SDGs の理念である「誰一人取り残さない」を実現するため、自分ができていることを考えよう。
